

# こどもの性と母親

宮原 忍 (東京大学医学部保健学科)

亀山ひろ子 (松戸市保健衛生部健康管理課)

## 1) 松戸市の保健セミナーの概要

千葉県松戸市においては、昭和53年度より小学校学童の母親を対象に、1年に1回保健セミナーを行ってきた。1年目は1会場、1日のみであったが、2年目より3日間のプログラムで進めているが、最近1日は1会場で全体会として講師による講演とし、2日目より9会場にわかれて映画や資料を用いてグループ討議などを行っている。

なお、これと別に中高年のための性教育講座を昭和58年度から発足させた。

保健セミナーの目的は、最近の性情報の氾濫等、児童を取り巻く環境のエスカレーションに鑑み、親が子どもを正しく理解する過程を助けること、家庭における親の子供への関わり方、地域社会での母親達の相互連携の必要性を認識させること、子どもの性を通してライフサイク

ルの中で、母親自身の健康問題を女性の性機能と併せて考えて行けるようにすることである。

昭和59年度の保健セミナーは「思春期の男女の生理と心理」および「情報化社会の中の子どもの性とその対応」をテーマとして開催された。

## 2) 母親と子どもの性成熟に関するアンケート

昭和59年度の松戸市保健セミナーの参加者に、その第1日目にアンケートを配布して記入をもとめ、当日のプログラム終了時に回収した。内容は主として母親の月経に対する知識および意識と子どもに対する性教育(初潮教育)の関係に関するものである。

アンケートの配布数は1,100枚、回収数は980枚、その内有効回答は887枚(80.6%)であった。

以下に主な結果を表示する。

### A 2. お子様の学校

	人数	%
1. 小学校		
1) 松戸地区	188	21.20
2) 小金地区	195	21.98
3) 常盤地区	163	18.38
4) N. A.	293	33.03
2. その他	4	0.45
3. N. A.	44	4.96
合計	887	100.00

### A 3. 貴方の年齢

	人数	%	平均年齢
～24	1	0.11	36.43
25～29	4	0.45	最少年齢 23
30～34	230	25.93	最高年齢 51
35～39	426	48.03	
40～44	129	14.54	
45～49	20	2.25	
50～54	2	0.23	
N. A.	75	8.46	
合計	887	100.00	

### A 6. 貴方の学歴

	人数	%	
1. 中学校	17	1.92	463人
2. 高等学校	446	50.28	52.20%
3. 専門学校	92	10.37	253人
4. 短期大学	161	18.15	28.52%
5. 大学	96	10.82	112人
6. 大学院	6	0.68	11.50%
7. その他	7	0.79	
N. A.	62	6.99	
合計	887	100.00	

### A 5. 貴方の職業

	人数	%
1. 2. 企業団体等勤務	34	3.83
3. 公務員	5	0.56
4. 商工サービス・自営	29	3.27
5. 農業	1	0.11
6. 自由業	15	1.69
7. その他	29	3.27
8. 無職	723	81.51
N. A.	51	5.75
合計	887	100.00

### A 4. ご主人の年齢

	人数	%	平均年齢
～29	1	0.11	39.45
30～34	84	9.47	最少年齢 27
35～39	351	39.57	最高年齢 55
40～44	282	31.79	
45～49	81	9.13	
50～54	16	1.80	
55～	1	0.11	
N. A.	71	8.00	
合計	887	100.00	

### A 8. ご主人の学歴

	人数	%	
1. 中学校	22	2.48	281人
2. 高等学校	259	29.20	31.68%
3. 専門学校	52	5.86	67人
4. 短期大学	15	1.69	7.55%
5. 大学	416	46.90	440人
6. 大学院	24	2.71	48.61%
7. その他	0	0.00	
N. A.	99	11.16	
合計	887	100.00	

A 7. ご主人の職業

	人数	%	
1. 2. 企業団体等勤務	597	67.31	} 692人
3. 公務員	98	11.05	
4. 商工サービス・自営	99	11.16	} 127人
5. 農業	1	0.11	
6. 自由業	27	3.04	} 14.32%
7. その他	22	2.48	
8. 無職	1	0.11	
N. A.	42	4.74	
合計	887	100.00	

A 9. どこでセミナーをしましたか (M. A.)

	人数	%	
1. 学庭教育学級	565	63.70	} 828人
2. P. T. A.	231	26.04	
3. 学年委員	32	3.61	} 93.35%
4. 広報	33	3.72	
5. その他	26	2.93	
N. A.	16	1.80	
合計	887	100.00	

A 48. お子さんに男女の体のことや赤ちゃんが  
どうして生まれるか等話したことがありますか

	人数	%
1. ない	374	42.16
2. ある	430	48.48
N. A.	83	9.36
合計	887	100.00

(M. A.)

	人数	%
1. 男の体のしくみ	90	20.93
2. 女の体のしくみ	226	52.56
3. 赤ちゃんの誕生	195	45.35
4. その他	42	9.77
N. A.	48	11.16
合計	430	100.00

A 29. 初経についての気配り (M. A.)

	人数	%
1. 生理用品を準備	164	39.81
2. 事前に話をしている	171	41.50
3. 特に気配りなし	66	16.02
4. その他	11	2.67
N. A.	46	11.17
合計	412	100.00

\*

A 27. 女の子が初経になったら、どう思います(した)か

	人数	%
1. 喜び・肯定	280	74.67
2. かわいそうに思う	28	7.47
3. その他	18	4.80
N. A.	49	13.07
合計	375	100.00

A 12. あなたの月経についての感想

	人数	%
1. 女として喜び	95	11.05
2. 特に何も感じない	406	47.21
3. わずらわしい	316	36.74
4. その他	24	2.79
N. A.	19	2.21
合計	860	100.00

A 15. 月経がなくなったら(なくなった時)

	人数	%
1. さみしい気持	174	19.62
2. さっぱりした気持	126	14.21
3. どちらとも言えない	249	28.07
4. その他	12	1.35
N. A.	326	36.75
合計	887	100.00

A 44. お子さんのしつけの方針を決めるとき、ご夫婦の  
どちらの意見で決めますか

	人数	%
1. どちらかと言えば夫	40	4.51
2. 夫婦二人で	553	62.34
3. どちらかと言えば妻	198	22.32
4. どちらとも言えない	57	6.43
N. A.	39	4.40
合計	887	100.00

A 30. 娘さんの性の相談相手? (M. A.)

	人数	%
1. 父	13	2.24
2. 母	500	86.21
3. 兄	2	0.34
4. 姉	30	5.17
5. 祖父	1	0.17
6. 祖母	15	2.59
7. 友達・先輩	310	53.45
8. 担任の先生	31	5.34
9. 保健体育の先生	26	4.48
10. 養護の先生	31	5.34
11. 電話相談	12	2.07
12. 医師・看・保・助	14	2.41
13. わからない	8	1.38
合計	580	100.00

A 12. あなたの月経についての感想

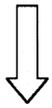
A 27. 娘の月経についての感想

A 12.	A 27. 発育の喜び	かわいそう	合計
1. 女としての喜び	} 88.71%	21	186
2. 特に何も感じない		11.26%	61.59%
3. わずらわしい		24	116
合計	71.32%	20.69%	38.41%
	257	45	302
	35.10%	14.90%	100.00%

A 15. 閉経についての感想

A 27. 娘の月経についての感想

A 15.	A 27. 発育の喜び	かわいそう	合計
1. さみしい気持	} 96.83%	2	63
2. さっぱりした気持		3.17%	29.86%
3. どちらとも言えない		11	56
合計	80.36%	19.64%	26.54%
	71	21	92
	77.17%	22.83%	43.60%
合計	177	34	211
	83.89%	16.11%	100.00%



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



### 1) 松戸市の保健セミナーの概要

千葉県松戸市においては、昭和 53 年度より小学校学童の母親を対象に、1 年に 1 回保健セミナーを行ってきた。1 年目は 1 会場、1 日のみであったが、2 年目より 3 日間のプログラムで進めているが、最近では 1 日は 1 会場で全体会として講師による講演とし、2 日目より 9 会場にわかれて映画や資料を用いてグループ討議などを行っている。

なお、これと別に中高年のための性教育講座を昭和 58 年度から発足させた。

保健セミナーの目的は、最近の性情報の氾濫等、児童を取り巻く環境のエスカレーションに鑑み、親が子どもを正しく理解する過程を助けること、家庭における親の子供への関わり方、地域社会での母親達の相互連携の必要性を認識させること、子どもの性を通してライフサイクルの中で、母親自身の健康問題を女性の性機能と併せて考えて行けるようにすることである。

昭和 59 年度の保健セミナーは「思春期の男女の生理と心理」および「情報化社会の中の子どもの性とその対応」をテーマとして開催された。